

1 都市の成り立ち

「現代の地理学」第2週

都市の誕生と成長 (1)

- ▶ 都市の起源
- ▶ 産業革命期以降、特に20世紀に入り都市に人口が集中
 - ▶ 国内(農村から都市)・国際(植民地・発展途上国から宗主・先進国)
- ▶ 都市の起源として市(いち=定期市)
 - ▶ 定住の場ではなく、互いに疎遠な人々が一時的に集まり、物品・サービス・情報の交換を行う場。共同体とは異なる社会関係。



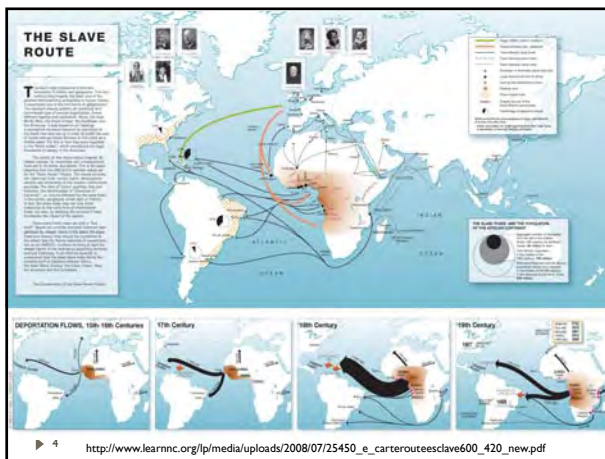
インドの某村の定期市
<http://synodos.jp/international/9123>

▶ 2

都市の誕生と成長 (2)

- ▶ 市(いち)が定住的な都市へ成長
 - ▶ 自然的条件によって交通・通信手段が変化(河口、峠など荷物の積み下ろしが必要)
 - ▶ 「結節点」(けっせつてん)→都市
 - ▶ 図1-1 西アフリカにおける交易ルートと都市

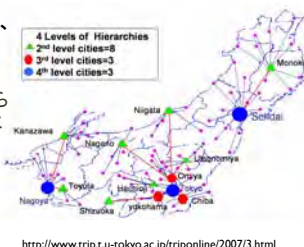
▶ 3



▶ 4 http://www.learnnc.org/lp/media/uploads/2008/07/25450_e_carterouteslave600_420_new.pdf

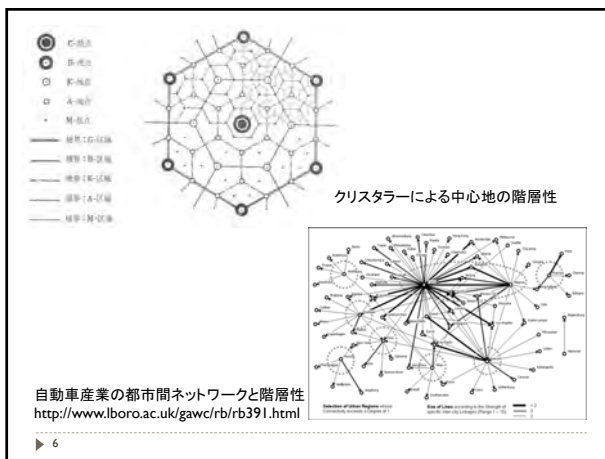
都市の誕生と成長 (3)

- ▶ 都市=ひと、もの(財、商品)、貨幣、情報が集中し、拡散する結節点
 - ▶ 都市は、そうした多様な移動と物流のネットワークからなる都市システムのなかに位置づけられる
 - ▶ 供給する財・サービスの種類に応じた階層性
 - ▶ 食料など消費財(低次財)
 - ▶ 食料を生産する機械などの生産財(高次財)



<http://www.trip.t.u-tokyo.ac.jp/triponline/2007/3.html>

▶ 5



自動車産業の都市間ネットワークと階層性
<http://www.lboro.ac.uk/gawc/rb/rb391.html>

▶ 6

都市の誕生と成長 (4)

- ▶ 都市による空間の組織化
- ▶ 都市と農村間の社会的分業(18世紀以降)
 - ▶ 農業から工業と商業が分離することで、都市と農村が分離する。
 - ▶ 都市=都市に定住する職人・商人が農村に財・サービスを提供
 - ▶ 農村=都市へ労働力と食料を供給

▶ 7



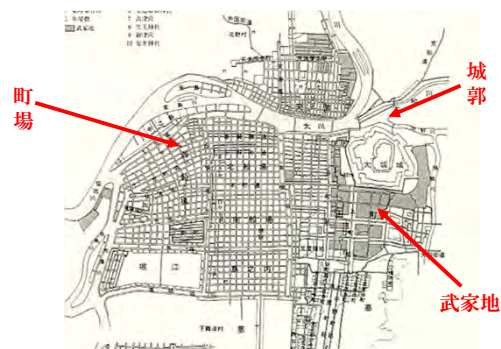
中世起源の囲郭都市(ドイツ・ゾースト)

▶ 8



フランス中西部のカルカソン
<http://solon-deviant.deviantart.com/art/fortified-medieval-town-96781655>

▶ 9



大坂市街図(1655) = 城下町の地域制

▶ 10



新撰増補大坂大絵図(1687年)
<http://blog.livedoor.jp/manawanaq9/archives/51678448.html>

▶ 11

都市の誕生と成長 (5)

- ▶ チューネンの「孤立国」
 - ▶ 都市は周囲の空間にどのような影響を及ぼすのか
- ▶ ドイツの農場経営者チューネンの考察(1826年)
 - ▶ 自然条件捨象、均質な空間想定
 - ▶ 都市は周辺の平野からのみ食料を供給される
 - ▶ 場所ごとに利益が最大となる農業的土地利用を考察
 - ▶ 中心市
 - ▶ 園芸農業、酪農(都市と近接)
 - ▶ 林業(薪炭材、木材)
 - ▶ 輪菜式(休耕しないで輪作)
 - ▶ 穀草式(連作後の休耕地で牧畜)
 - ▶ 三圃式(夏作、冬作、休耕・牧畜のローテーション)
 - ▶ 畜産園(家畜は自分で歩く)
 - ▶ 距離の摩擦=農産物輸送のコストと時間が空間を分化させる

▶ 12

http://postoilgeography.blogspot.jp/2012/10/rememering-von-thunen.html

▶ 13

19世紀以降の都市の変貌 (1)

- ▶ 距離の摩擦の克服
 - ▶ 交通・コミュニケーション手段の技術革新
 - ▶ 人や工場・企業が集中して移動時間を減らす(近接性・集積の利益)
- ▶ 分業と集積
 - ▶ 全ての作業を企業内で行うより部分的に他の企業に委託した方が有利(分業)
 - ▶ 同種企業が取引費用を節約するため一定の範囲に集中(集積)、図1-2
- ▶ 負の外部性
 - ▶ 過度の集中による弊害→製造業の域外・国外移転

https://www.toyota.co.jp/jp/about_toyota/facility/toyota_kaikan/access/car.html

▶ 14

19世紀以降の都市の変貌 (2)

- ▶ 新しい産業
 - ▶ 多国籍企業(中枢管理、研究開発部門)
 - ▶ 金融・保険・不動産業(高次サービス業)
 - ▶ 企業サービス業(市場調査、宣伝・広告、法律相談)
 - ▶ 文化コンテンツ産業(ゲーム、アニメ、映像)
 - ▶ NGO本部
- ▶ 新しい労働力
 - ▶ 発展途上国からの外国人労働力
 - ▶ エスニックタウンの形成
- ▶ 結果としての世界都市化

東京都新宿区大久保 通称「コリアンタウン」

▶ 15

19世紀以降の都市の変貌 (3)

- ▶ 都市と生産の基盤
- ▶ 都市は膨大なインフラストラクチャを必要とする
 - ▶ 都市の生産活動に必要な港湾、上下水道、送電線、鉄道、道路などの社会基盤
 - ▶ 建設に際して信用・金融システムの役割が重要
 - ▶ 計画性が求められる
 - ▶ インフラ維持の遅滞や浪費の影響が大きい
 - ▶ 土地に埋め込まれているので場所間で空間的・社会的不平等が発生する→政治的対立・紛争の原因
 - ▶ 公的機関(国、自治体)が民間と連携して建設を進める
 - ▶ 都市を超える社会経済的システムと関わる

▶ 16

19世紀以降の都市の変貌 (4)

- ▶ 都市のイメージ
- ▶ 消費の場としての都市
 - ▶ 場所イメージ
 - ▶ 商品やサービスをその場所で購入したいという欲求を掻き立てる
 - ▶ 良好な物的環境としてインフラの一部

原宿(左)と渋谷(右)

▶ 17

19世紀以降の都市の変貌 (5)

- ▶ 都市のスペクタクル
- ▶ 場所イメージを創出するイベント
 - ▶ 権力者の力を誇示し市民や国民の統合を図る
 - ▶ 大阪万国博覧会(1970年)
 - ▶ 大阪花と緑の博覧会(1990年)
 - ▶ 大阪オリンピック(2008年予定、落選)

http://fukafuka51.exblog.jp/5233568
https://commons.wikimedia.org/wiki/File:EXPO_1990.JPG

▶ 18

19世紀以降の都市の変貌 (6)

- ▶ かつての生産の場所は消費とツーリズムの場所へ変貌
- ▶ 北九州市の工場景観(図1-3、口絵1)
- ▶ ダラヴィのスラムツアー
 - ▶ 貧困地区の訪問を伴う観光。起源はビクトリア朝ロンドンまでさかのぼる。近年は発展途上国都市で増加。
 - ▶ あらゆるものが場所の独特さを創出するために動員
 - ▶ 誰の歴史・解釈が重視され、誰が利益を得るのか



▶ 19

<http://www.sean-flynn.com/2013/02/dharavi-1/>
<http://www.airoots.org/2008/06/dharavi-2025/>

都市と社会経済システム (1)

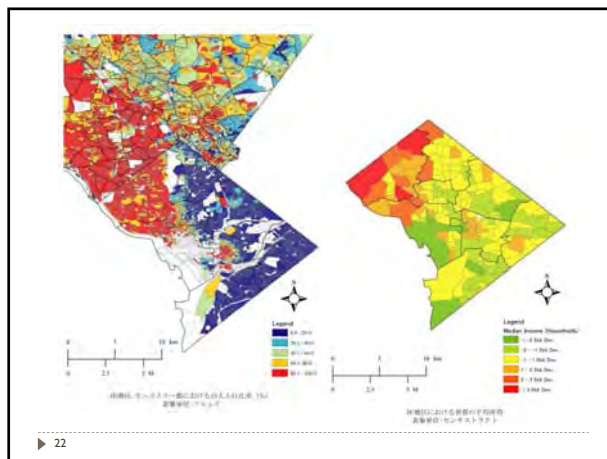
- ▶ 都市は生産の場だけではなく「再生産」の場でもある
 - ▶ 食べる、寝る、学ぶ、遊ぶ、交わる
 - ▶ それらを支える物的・制度的インフラ=集合的消費財
 - ▶ 住宅、教育機関、公園、歩道、病院
 - ▶ 社会保障、教育、医療
 - ▶ 住民の税金を財源に公共サービスとして提供される(再配分)
 - ▶ 1980年代以降、開発重視の都市企業家主義へと変容
 - ▶ 市場原理(民営化)を利用した効率的なサービス供給へ
 - ▶ 社会格差の拡大につながる恐れも
- ▶ こうした生産と再生産の場は都市の中にどのように作り出されるのか？

▶ 20

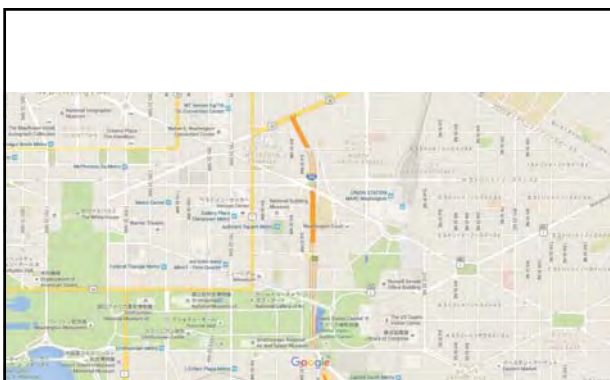
都市と社会経済システム (2)

- ▶ 資本主義社会経済システム
 - ▶ 企業競争の中で商品の過剰生産→過剰分の調整が必要
 - ▶ 都市空間(郊外とインナーシティ)の形成がそうした資本制のシステムと不可分
 - ▶ 郊外化=インフラの整備、住宅建設、自動車や家電製品など(耐久消費財)の消費=生産需要と雇用を創出→経済成長
 - ▶ インナーシティ(都心周辺の問題地区)=1970年代以降新たな需要のもとに再開発が進行
 - この再開発はジェントリフィケーションと呼ばれる地域の更新による地価の上昇によって労働者や移民を立ち退かせ、新たな紛争を惹起
- ▶ ワシントンDC都心部からインナーシティの実際を見てみましょう
 - ▶ 人種のセグリゲーション、所得格差→社会関係の分断・対立の根(2007年犯罪マッピング調査)

▶ 21



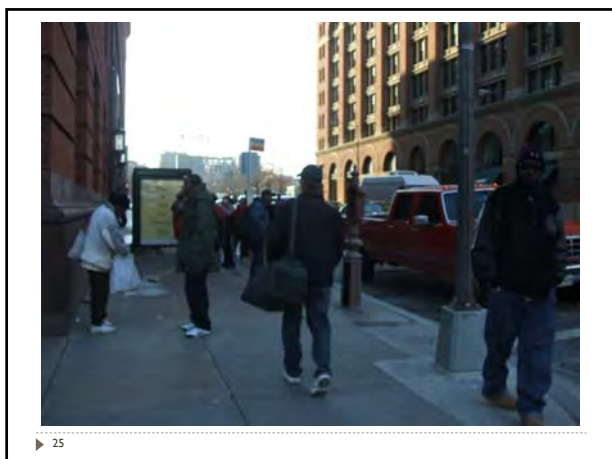
▶ 22



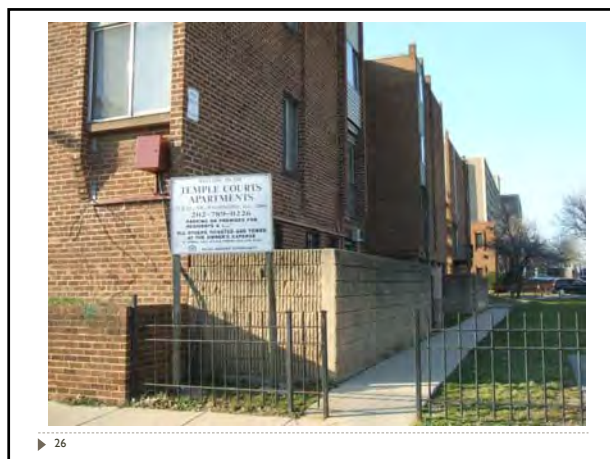
▶ 23



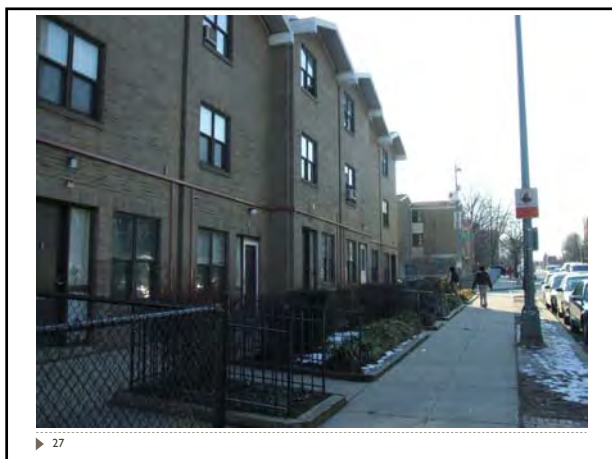
▶ 24



▶ 25



▶ 26



▶ 27



▶ 28



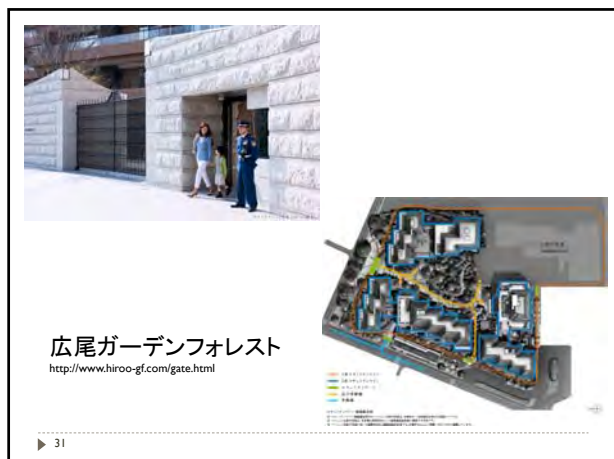
<http://inhabitat.com/amtrak-announces-ambitious-eco-plans-for-overhaul-of-washington-d-c-s-union-station/union-station-renovation-hok-parsons-brinkerhoff-6/>

▶ 29

都市はどこに向かうのか

- ▶ 「南」(発展途上国)の巨大都市圏(メガ・シティ)
 - ▶ 人口規模に対して基本的インフラや住民サービスの供給が圧倒的に不足
 - ▶ 公的企業や再配分に依存できないので「インフォーマル」経済が発達
 - ▶ 農業、路上販売、食品加工、木材・金属加工、自動車修理、運輸
 - ▶ フォーマルな就業と組み合わせる生活戦略
 - ▶ 相互扶助のネットワーク、独自の規範意識など非ヨーロッパ的経済実践
 - ▶ 住宅に関しては空き地の占拠、スクワッター集落の形成、インフラ未整備で居住環境は劣悪
- ▶ 富裕層によるゲートドコミュニティ
 - ▶ 居住地を壁やフェンスで取り囲み、安全と快適さを確保するも、周囲の社会と分断

▶ 30



分断を超えて

- ▶ 都市は本来異質なもの(者・物)が会う場
- ▶ その機会の喪失は都市的なものの危機
- ▶ 「都市空間とは生き物、自然と社会の産物、作品、記号、シンボルなどあらゆるものが、現実的かつ潜在的に出会い、集結する空間であり、この集中・集結に都市の「中心性」がある」(ルフェーブル)
- ▶ 都市住民に求められること
 - ▶ 都市空間と都市が**生み出すさまざまな財を共有するための協働の方法**を編み出し、実践すること

▶ 32